

新年、明けましておめでとうございます。
本年も何卒よろしく願いいたします。

さて、前回のブログではイタリアから日本へ一時帰国の流れをご紹介いたしましたが今回は日本の羽田からイタリアのローマまでの流れをご紹介いたします。

筆者がイタリアへ帰国した際の規則は 2021 年 12 月 15 日から 2022 年 1 月 15 日まで有効なものです。
これ以降に渡航される方はその時点の規則に基づいて渡航されるようお願いいたします。

日本からイタリアに渡航の際の規則もご参照ください。 (イタリア総領事館のサイト)
https://consosaka.esteri.it/consolato_osaka/ja/la_comunicazione/dal_consolato/2021/06/emergenza-covid-19-ordinanza-del.html

筆者が日本でイタリアへの渡航のために行った準備

1. PCR 検査を行い陰性証明を受け取る。
イタリアから日本入国の際にも行った PCR 検査は今回イタリアへ帰国する際にも行わなくてはなりません。

★こちらで重要なのは、イタリア入国 72 時間以内に行われた検査であることです。
(日本を出発する時間から換算するものではないのでご注意ください。)

★PCR 検査は鼻拭いによる検査です。

★以前は抗原検査でも可能でしたが現在は不可ですのでご注意ください。

自費検査を提供する検査機関一覧

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-jihikensa_00001.html

(厚生労働省のサイトより)

筆者が行ったクリニックはこちらのリストには載っていませんが恵比寿にあるクリニックで検査費用と英語での陰性証明書費用込みで 16000 円でした。

結果は検査当日にメールで送信されてきますのでとても便利でした。

こちらがそのクリニックの HP のリンクです。

<https://www.ayumucl.team-medical.or.jp/>

2. グリーンパスをデジタルもしくはプリントしたものを用意。(日本在住の方は自治体発行のワクチン接種証明書などを用意する)

★こちらはチェックイン時に提示するためプリントしたものを用意しておく方が便利かと思います。

★もしグリーンパスやワクチン証明がない場合でもイタリアに入国は可能ですがその場合は 5 日間の隔離をしてその後改めて検査を受ける必要があります。

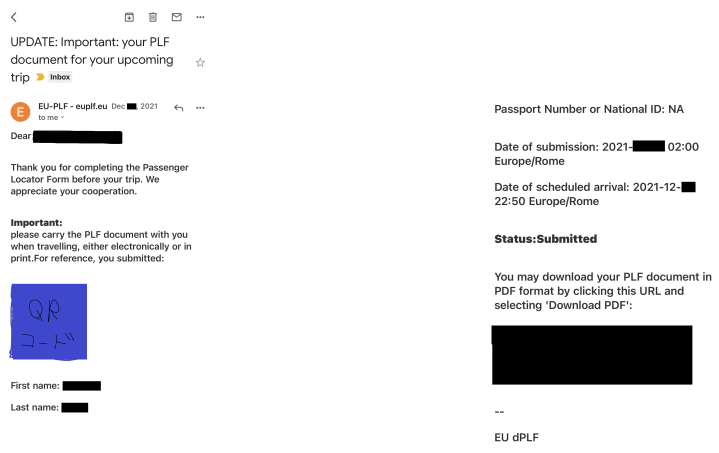
3. デジタル旅客位置情報フォーム (dPLF)の記入をする。

記入後 QR コードが送られてくるのでそちらを搭乗の際に提示する。

こちら↓のリンクに入り、必要情報を記載します。

<https://app.euplf.eu/#/>

★記入後こちらのような QR コード付きのメールが送られてきます。



こちらの記入欄に航空便の座席を入れる場所があり、筆者は渡航当日でないと記入はできないと思っていたのでチェックイン後に入力しました。

搭乗前までに記入すればよいのですが、座席番号などはいつでも変更が可能なようなので他の場所を事前に記載しておき、出発当日座席の番号のみを記載する方が慌てなくてよかったかもしないと思いました。

こちらはイタリア領事館のサイトに記載されているフォーム登録の日本語説明のリンクです。ご参照ください。

https://ambtokyo.esteri.it/ambasciata_tokyo/ja/chi-siamo/dall-ambasciata/2021/05/ministero-della-salute-della-repubblica.html

フォームの記載の際に、航空便の出発時間や場所、経由など細かい情報が必要です。記載の際に E チケットが手元にあると便利でしょう。

これらを準備していざ出発!

★空港のチェックイン時は1と2,そして滞在許可証をチェックされました。

★これらの書類をチェックするのに時間がかかるので通常よりチェックインに時間がかかりましたので余裕を持って空港へ向かってください。

★出国手続きは機械でパスポートを読み取り自動改札。

★搭乗の際は不織布マスクが必要ですのでご注意ください。

★筆者が搭乗の際にはデジタル旅客位置情報フォームのQRコードの提示は求められませんでした。

★フランクフルトで乗り換えでしたので入国検査はフランクフルトで行いました。
その際はパスポートと滞在許可書の提示だけでした。

★フランクフルトからローマ便に乗り通常通りローマに到着。

★筆者がイタリア出発前日に公共交通機関を使用の際にFFP2のマスクを着用が義務化になりましたが、フランクフルトからローマの便ではFFP2マスクの着用は求められませんでした。
マスクに関しては航空会社の規定に沿って事前に正しいマスクの種類を手に入れておくことをお勧めいたします。

★イタリア出発前に受け取った在イタリア日本国大使館からのメールで下記に記されたランダムチェックは筆者がローマ到着時には行われていませんでした。

下記は在イタリア日本国大使館からのメールを引用:

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイタリア政府の措置: 新たな緊急政令(大221号)の9, イタリアに入国する物(飛行機、船舶および陸路での入国)を対象として、ランダムに抗原検査又は分子検査(PCR検査)が行われる。結果が陽性の場合、自らの負担で、必要な場合には指定された滞在施設で、10日間の自己隔離を行う。(第11条)

★荷物をピックアップして到着ロビーに出ると通常はハイヤーのドライバーなどが待っていますが、コロナ感染予防のためドライバー達は建物を出てすぐのところまで待っていました。

以上が羽田からローマまでの渡航の流れです。

これから日本へ一時帰国を考えていらっしゃる皆さま、行きは前回のブログを、そして日本からイタリアへ戻られる際は今回のブログをご参考にしていただければ幸いです。